

平成28年 1月15日

お知らせ

資料提供先：島根県政記者会

松江高専生を対象とした 『情報化施工』体験セミナーを開催します！ ～建設施工現場に導入されているICT技術を体験～

情報化施工の普及促進を目的として、以下のとおり、松江高専生を対象とした「情報化施工」体験セミナーを実施しますのでお知らせします。

当日は、現在建設中の朝山・大田道路工事現場において、情報化施工の最新技術の紹介や、情報化施工技術を搭載した重機、測量機器の操作体験を行い、情報化施工について学んでもらいます。

なお、本セミナーは、一般社団法人日本建設機械施工協会中国支部が主催で実施するものです。

- 実施日時：平成28年 1月21日(木) 14:30～16:15(予定)
- 開催場所：朝山・大田道路 波根地区改良第6工事現場
(大田市大田町朝山地内) (別紙参照)
- 対象者：国立松江工業高等専門学校 環境・建設工学科3年生 40名(予定)

※現場内は足下が悪い場合があります。歩きやすい靴(スニーカーなど)をお願いします。
※安全のため現場内はヘルメットが必要です。必ず持参して下さい。
※現場内は工事中につき危険な箇所がありますので、現場の職員の指示に従って行動して下さい。
※当日の天候によっては中止する場合があります。
※当日取材される場合は、事前に下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
(島根県松江市西津田2丁目6番28号)

副所長(改築)	ふじはら ひろし 藤原 宏志	(内線204)
(工事担当) 建設専門官	たけえ ひとし 竹江 仁	(内線404)
(広報担当) 計画課長	やまもと としひこ 山本 俊彦	(内線261)

TEL:0852-26-2131(代表) FAX:0852-22-9731

URL:<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

※松江国道事務所では、twitter(ツイッター)による情報発信を行っています。

ツイッター：http://twitter.com/road_matsue

QRコード



「情報化施工」体験セミナー 概要

○開催日時： 平成28年 1月21日(木) 14:30~16:15(予定)

- セミナー内容：
- ・MC(マシンコントロール)技術を搭載したブルドーザ操作体験
 - ・MG(マシンガイダンス)技術を搭載したバックホウ操作体験
 - ・自動追尾トータルステーション等を活用した最新測量技術体験

MC(マシンコントロール)技術

●TS/GNSS等を用いて機械の位置・高さをリアルタイムに取得しブレードを自動制御しながら施工

①プリズム自動追尾 建設機械位置測定
②自動追尾 トータルステーション
③設計高さ、横断勾配
④ファンベームにより高さ指示 光通信により各データ送受
⑤作業装置のコントロール
⑥検出位置(X, Y)
⑦新採用パソコン
⑧受光センサー

MG(マシンガイダンス)技術

●GPS等から機械の位置を取得し設計データを基にオペレーターに操作を指示しながら施工

GPSアンテナ
ディスプレイ
ピンチセンサー
GNSS受信機
傾斜センサー
自動ガイダンスデータ
オペレータ側のモニター

自動追尾TS等を活用した最新測量技術

●設計データを入力したTSにより、出来形計測を行い、設計との差を確認。更に帳票を自動作成

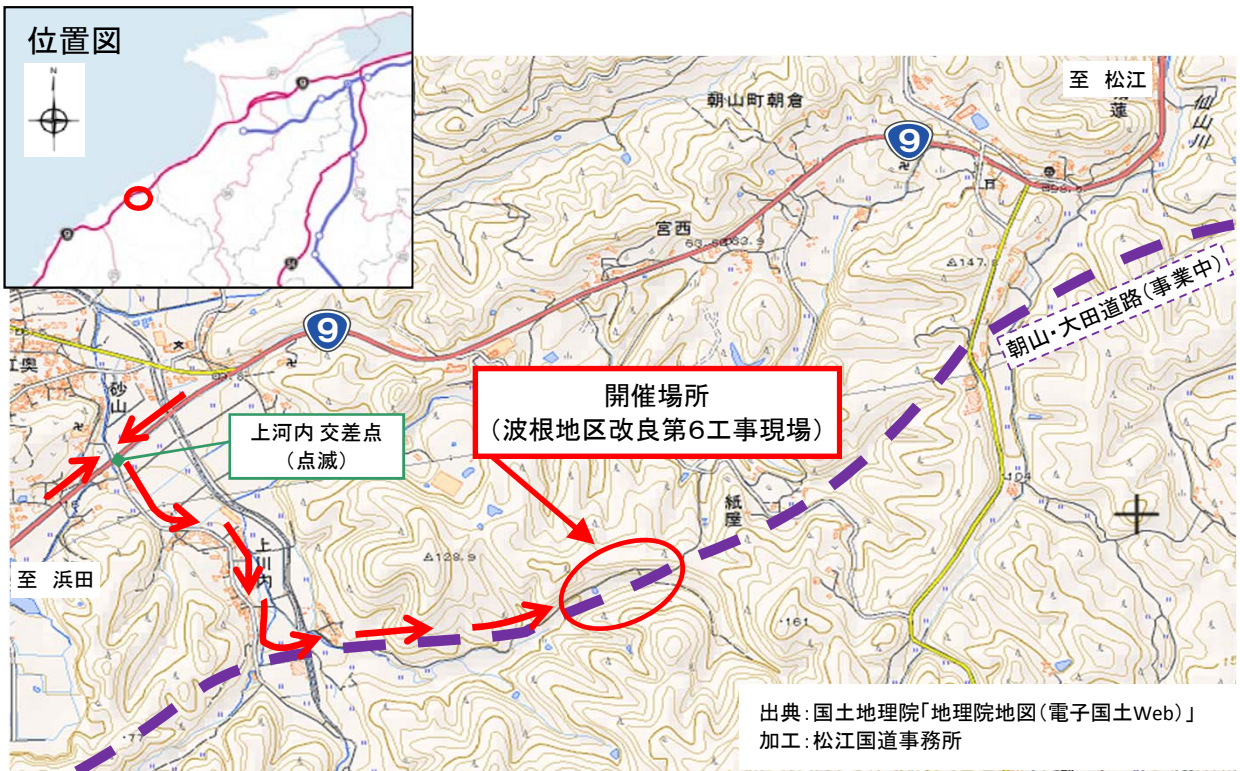
計測点(受光機)
トータルステーション
基本設計データ (XML形式)
出来形計測データ (XML形式)
出来形帳票 (PDF形式)
電子帳票
出来形管理用 トータルステーション
出来形管理支援機器

①基本設計データ作成 ソフトウェア(パソコン)
②出来形管理用 トータルステーション
③出来形帳票作成 ソフトウェア(パソコン)

開催場所

大田市大田町朝山地内 (工事現場)

※開催場所には駐車場があります

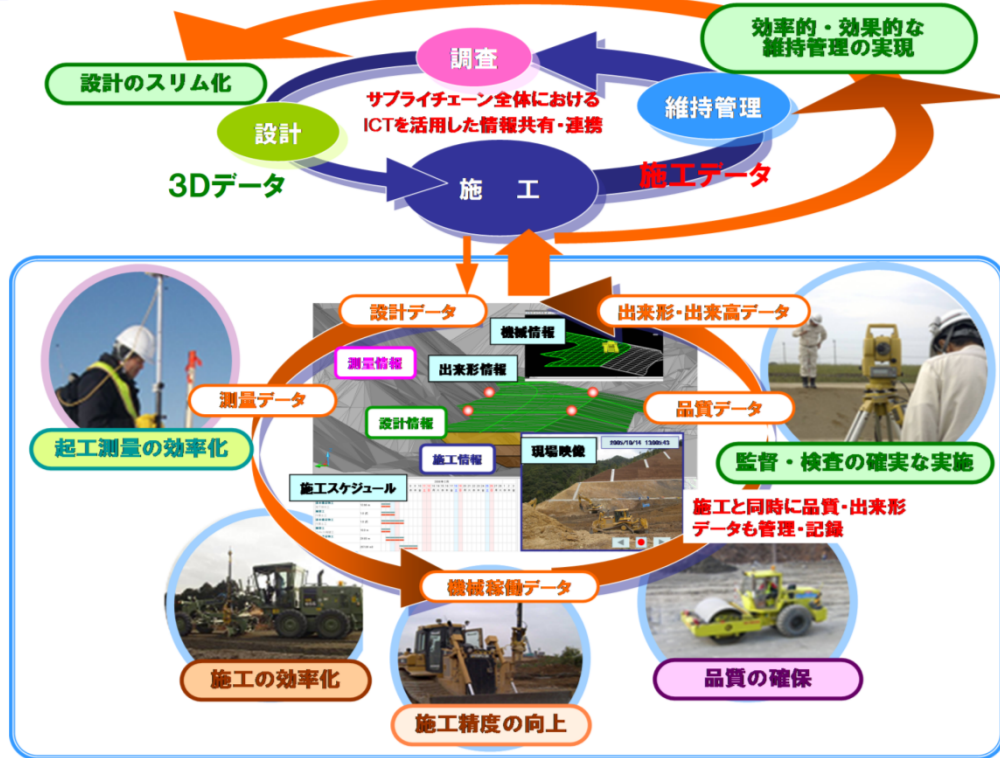


情報化施工とは…

現在、国土交通省が推進している「i-Construction」の取り組みの一つで、建設事業における「施工」において急速な技術革新が進んでいる情報通信技術「ICT (Information and Communication Technology)」を適用し、多様な情報の効率的な活用によって施工の合理化を図るものである。

また、「施工」で得られた電子情報を「維持管理」等に活用する事により、一連の建設システムの生産性向上や品質の確保を図るものである。

- ① 調査、設計、施工、維持管理という建設生産プロセスのうち「施工」に注目
- ② 各プロセスから得られる電子情報を活用し、高効率・高精度な施工を実現
- ③ 施工で得られる電子情報は、他のプロセスでも活用



<参考>i-Construction

○目指すべきもの

- ・一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善
- ・建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るなど、魅力ある建設現場へ
- ・建設現場での死亡事故ゼロに
- ・「きつい、危険、きたない」から「給与、休暇、希望」へ

上記を達成するため、下記3項目を推進する取り組みを総称して「i-Construction」という

□ICT技術の全面的な活用

測量・設計から施工・検査、さらには維持管理・更新までの全てのプロセスにおいてICT技術を導入

□規格の標準化

寸法等の規格の標準化された部材の拡大

□施工時期の平準化

2カ年国債の適正な設定等により、年間を通じた工事件数の平準化